

第1回 北近江歴史大学

完全予約制

朝倉義景の近江在陣 古文書からみる意外なエピソード

令和4年
(2022)

7/31日

午後1時30分～

いしかわ みさき

講師：石川美咲氏

(福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館学芸員)

令和4年は、北近江の戦国大名・浅井長政の450回忌にあたります。これに合わせて今年度の北近江歴史大学は「浅井長政 450 回忌 浅井氏と周辺の人々」をメインテーマに全3回の連続講座を開講します。

第1回目の講師は、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館の石川美咲学芸員です。

元亀3年(1572)、織田信長が浅井氏の居城・小谷城に本格的な攻勢を強めたことから、越前の朝倉義景は浅井氏援軍のため自ら出陣し、小谷城の大獄に6カ月にわたって籠城しました。

本講座では、朝倉義景近江在陣にまつわる意外なエピソードについて、残された古文書から解説していただきます。

会場：湖北文化ホール

長浜市湖北町速水 2745

受講料：500円(長浜城友の会会員は無料)

受講料は講演会当日、会場でお支払ください。

ご注意

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、事前のお申込みが必要です。聴講に際してはマスクの着用をお願いし、37.5度以上の発熱のある方は入場をお断りします。なお、本講座は、滋賀県および長浜市のガイドラインのっとり、収容人数上限を設けていることから、別に客席の間隔確保等は行いませんので、あらかじめご了承ください。

講師プロフィール

石川美咲氏 1991年、群馬県生まれ。大阪市立大学文学部卒、大阪市立大学大学院文学研究科修士課程修了後、2016年より福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館に学芸員として勤務。専門分野は戦国大名権力論。美濃土岐氏、斎藤氏、越前朝倉氏に関する多数の研究業績を有す。

主な論文に「戦国期美濃国における後斎藤氏権力の展開」(『年報中世史研究』39号、2014年)、共著に「東海の名城を歩く 岐阜編」(吉川弘文館、2019年)、『天下人信長の基礎構造』(高志書院、2021年)、『日本中世の課税制度 段銭の成立と展開』(勉誠出版、2022年)など。

お申込みについて

受付期間：令和4年(2022) 7月10日(日) 午前9時から

申込み：長浜城歴史博物館友の会事務局にお電話をおかけいただくか、博物館受付にてお申込みください。

定員：先着150名(人数に達し次第受付を締め切ります)

・長浜城歴史博物館友の会事務局

☎ 0749-63-4611

番号はおかけ間違いのないようにお願いします

※聴講にあたり、主催者に対応(合理的配慮)を求めることがある場合は、事前にご相談ください。
※新型コロナウイルスの感染防止のため、開催を中止または延期する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



● JR河毛駅下車 徒歩10分 駐車場あり